

まほろば秦野通信

平成28年1月5日

秦野市市長室広報課

タイトル	子供たちが無病息災・家内安全を祈り家々を回る 地域の伝統行事「あくまっぱらい」
When (いつ)	北地区・横野 1月9日(土曜日) 午前8時半集合 加羅古神社(横野608) 西地区・堀西 1月10日(日曜日) 午前9時半集合 天津(あまつ)神社(堀西769)
Where (どこで)	上地区・菖蒲 1月13日(水曜日) 午後4時集合 道祖神のそば(菖蒲997)
Who (だれが)	江戸時代から続く小正月の 伝統行事「あくまっぱらい」を 各地域で開催します。 【北地区・横野】 地区の小学5年～中学生が、 最年長の大將を中心に、獅子頭 をかぶり、太鼓を鳴らしながら 「舞い込め」の掛け声とともに
What (なにを)	に、横野地区の約200軒の家のお払いをして回ります。一時途 絶えていた時期がありましたが、昭和40年代に子供会が再開し ました。 【西地区・堀西】 波多川(はたがわ)子供会(約30人)の幼稚園児～中学生が、 獅子頭を持ち、波多川地区の約200軒の家の玄関先などを回り 「あくまっぱらい」と大声で唱えます。 【上地区・菖蒲】 下東(しもひがし)地区の小・中学生の男子が、最年長の大將 を中心に、獅子頭や御幣を持ち、ひよっとこの仮面をかぶって、 菖蒲地区の約150軒の家の玄関先などで「あくまっぱらい」と 大声で唱え、手作りの札を配ります。
How (どのように)	
Why (なぜ)	「あくまっぱらい」とは、いくつかの地区に伝えられている道 祖神祭りの別名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。
問い合わせ	生涯学習課文化財担当 関口 電話0463(87)9581

